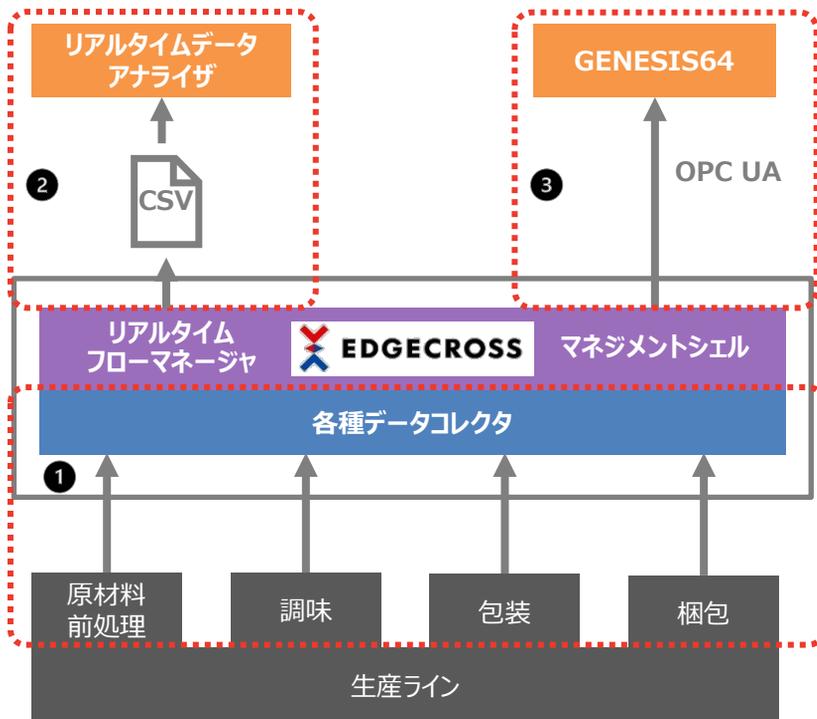


用途： データ分析 稼働監視

Point

- 生産データを分析することで製品状態の安定化、稼働率の向上を実現。
- 各生産ラインデータの一元管理と稼働状況の見える化を実現。

システム構成



- 1 Edgexross基本ソフトウェア、各種データコレクタを使い、各生産ラインから各種生産データを収集する。
- 2 リアルタイムフローマネージャが、収集した生産データをCSVファイルに出力。リアルタイムデータアナライザを使い、CSVファイル内の生産データを分析する。分析結果を基に診断ルールを作成、リアルタイムに生産データを診断する。
- 3 マネジメントシェルに一元管理された稼働データをGENESIS64がOPC UAで取得し、各生産ラインの稼働状況をグラフィカルに見える化する。

■使用している認定エッジアプリケーション製品 (製品名のクリックで詳しい情報がご覧になれます)

- [生産現場の品質向上、予防保全を実現するデータ分析・診断ソフトウェア
リアルタイムデータアナライザ\(三菱電機\)](#)
- [製品現場のデータの見える化、分析/診断可能なSCADAソフトウェア
GENESIS64 \(三菱電機\)](#)